

授業科目 臨床検査総論実習 II

【担当教員名】 長濱 大輔		対象学年	2	対象学科	臨床	
		開講時期	後期	必修選択	必修	
		単位数	1	時間数	45	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		関心・意欲		
◎		◎		○		
【概要・一般目標：GIO】 実習を通じて、腎・尿路系疾患、消化管出血、脳脊髄疾患などにおける一般臨床検査の役割を把握する。その際、基本的な技術習得と同時に検査データを評価する力を養う。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 尿沈渣検査の実際について多くを体験する。 2. 糞便検査方法の実際とその臨床的意義について把握する。 3. 脳脊髄液検査方法の体得と臨床的意義について学ぶ。 4. 食物残渣を含めたその他の検査の検査実際と臨床的意義について学ぶ。 5. 一般検査データの評価をする。 						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1. 2	尿沈渣における生物顕微鏡の構造と使用方法、境検の仕方、記載方法				1	実習
3. 4	尿沈渣成分の観察：赤血球、白血球				1	実習
5. 6	尿沈渣成分の観察：上皮細胞、円柱				1	実習
7. 8	尿沈渣成分の観察：結晶、細菌、酵母様真菌など				1	実習
9. 10	尿沈渣成分のスライド観察				1	実習
11. 12	糞便潜血反応検査と虫卵検査				2	実習
13. 14	脳脊髄液検査（性状、グロブリン反応、細胞数）				3	実習
15. 16	脳脊髄液のタンパク定量検査				3	実習
17. 18	食物残渣の臨床的意義と便中食物残渣の観察（胃液・十二指腸液・喀痰）				4	実習
19. 20	尿沈渣を中心とした体液成分のスライド観察				1-4	実習
21. 22	一般臨床検査結果の評価（症例検討会）				5	実習
23	実技試験				1-5	実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査学講座 臨床検査総論 第3版	三村 邦裕、鈴木 敏恵、宿 谷 賢一 他	医歯薬出版株式会社	2013・3,200円	
参考書		尿沈渣 第5版 標準臨床検査学	長濱 大輔 伊藤機一、松尾収二	文光堂 (株)医学書院	1997・4,000円 2013・3,000円	
その他の資料						
【評価方法】 定期試験(90%) レポート(10%)			【履修上の留意点】 一般臨床検査に関する基本的な技術を習得するので、できるまで繰り返し行うこと。			